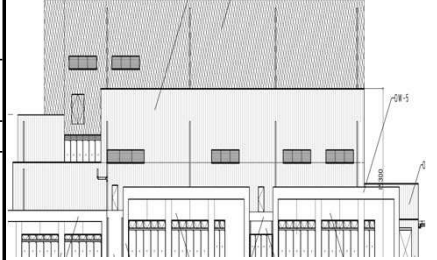


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)浜松市市民音楽ホール	階数	地上5F
建設地	静岡県浜松市北区新都田三丁目10	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年1月21日
敷地面積	30,035 m <sup>2</sup>	作成者	西川学
建築面積	3,873 m <sup>2</sup>	確認日	2019年1月28日
延床面積	5,986 m <sup>2</sup>	確認者	原田 聡



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	耐用年数高い材料を使用し、ライフサイクルコストを低減している。また断熱性能が高いため省エネルギー性が高い。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	壁、床、天井に吸音材を使用し、内装材・天井裏材はすべてF☆☆☆☆とする。外壁 U:0.96, 窓システム U:4.02, SC:0.494である。全館禁煙である。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b>	断熱性の高い外壁・断熱材の採用をしている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 日照阻害の抑制している。
<b>Q2 サービス性能</b>	内装計画を実施し維持管理に配慮し設計している。耐用年数が優れた内装仕上げ材と給排水配管などを使用している。また、建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	節水コマが付いている節水型便器を用いている。また、LGSを使用し、躯体と仕上げ材が分別しやすい。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>						
建物名称	(仮称)浜松市市民音楽ホール	BEE	1.2	BEEランク	B+	★★★

<b>2. 重点項目への取組み度</b>						
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.3	/5				ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.3	/5				ふつつ
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.3	/5				ふつつ
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.0	/5				ふつつ
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

<b>3. 重点項目についての環境配慮概要</b>			内訳対応項目			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。						
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>			得点		3.3	
	<b>■室内環境対策</b> (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①外壁 U:0.96, 窓システム U:4.02, SC:0.494である。 ②躯体材料の耐用年数が高い。 ③耐用年数が優れた外壁仕上げ材を使用している。 ④耐用年数が優れた内装仕上げ材を使用している。 ⑤優れた給排水配管を使用している。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 屋光利用設備 ③ 屋光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔			
	<b>■室外環境(敷地内)対策</b> (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	<b>■エネルギー対策</b> (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率運用) ⑥断熱性の高い外壁・断熱材の採用をしている。	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制			
	<b>■資源・マテリアル対策</b> (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑦節水コマが付いている節水型便器を用いている。 ⑧3品目のリサイクル材を使用している。 ⑨LGSを使用し、躯体と仕上げ材が分別しやすい。	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒			
	<b>■敷地外環境対策</b> (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし。	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善			
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>			得点		3.3	
	<b>■サービス性能対策</b> (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑩建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備			
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>			得点		3.3	
	<b>■サービス性能対策</b> (⑯機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑬壁長さ比率 0.17	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯⑰ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑯ ユニバーサルデザイン計画 ⑰ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ			
	<b>■室外環境(敷地内)対策</b> (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上			
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>			得点		3.0	
	<b>■室外環境(敷地内)対策</b> (⑤生物環境の保全と創出/⑥まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。	Q-3 1 2 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	<b>■敷地外環境対策</b> (⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善			